知道会報
CHIDO−KAIHO

87

編　集　知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人　鬼澤邦夫
発行日　平成27年10月１日
通　巻　第87号
メール　chidokai_mito@chidokai.jp

目 次

	座談会		1
	会員の集い企画	ファッションは毎日のアート	3
	一高だより	インターハイ	4
	学年・地域等知道会	昭54卒同窓会ほか	6

座談会
「140周年に向けてさらなる会員交流と母校支援を」

第64期からは鬼澤新会長が、知道会の新たな展開を担われている。今年の４月に着任した鈴木校長と、当時の高校生活や現役生徒への期待を語っていただいた。（座談会：平成27年９月５日、水戸一高校長室にて）

座談会出席者
鬼澤邦夫　会長　（昭38卒）
鈴木一弘　校長　（昭52卒）
栗原英則　幹事長（昭48卒）

（左から）鈴木校長、鬼澤会長、栗原幹事長

今も引き継がれる校風

栗原　お二人の在校当時の思い出をお聞かせください。

鬼澤　私は昭和35年に入学したのですが、入学からまだ一週間しか経っていない頃、体育館で遊んでいたバスケットボールで捻挫し、いきなり一週間の休みとなりました。クラスでは当時の湊中学校出身は私１人でしたので、「あいつはついて行けなくなったので休んだのではないか？」と心配されました。怪我が治り登校すると、皆に「大丈夫か？」と温かい言葉をかけてもらった思い出があります。

また、歩く会では、体育会系の先輩方に言われて100位以内を目指しましたが、結果は150位あたりで、それでも良い方だったかなと思います。３年の時は雨のため、途中で中止になり、電車で帰ってきました。こちらも懐かしい思い出です。

鈴木　私は昭和49年入学、茨城国体の年でした。

私の場合も、北茨城の同じ中学校からの入学は１人で、入学当初は、友達ができるか心配でしたが、すぐにその心配も吹き飛びました。通学は往復１時間ずつかかりましたが、貴重な読書の時間となり、今の自分の基礎となっています。当時は岩波新書が190円、限られた小遣いでどの本を買おうか楽しみに本屋に通っていました。

歩く会は、２、３年の時に雨で中止となったため、１回しか完歩できませんでした。現在では、東京知道会の幹事学年になって以降、毎年恩師をお招きして「復活歩く会」を開催しています。

栗原　高校生活で大事だったと思うことをお聞かせ下さい。

鬼澤　今でも引き継がれていますが、極めて自由闊達な風土です。社会人となり仕事をしていく上でも、その風土がDNAとして心の奥深いところに入っていると感じます。当時から物怖じせずに人と意見交換してきたことは、社会に出ても、プラ

※次ページに続く

会員の集い　11月14日（土）　水戸京成ホテルで開催

座談会　「140周年に向けて さらなる会員交流と母校支援を」

スだったと感じます。この風土は引き続き、大事にしていって欲しいと思います。

栗原　鬼澤会長からは、さらに、前号の知道会報で卒業生同士の交流の大事さについてご意見を頂いております。鈴木校長はいかがでしょうか？

鈴木　私も鬼澤会長と同じで、学校の中に自由な雰囲気、自主・自立の気概があふれていると感じます。知らず知らずのうちにその影響を受けて、行動・考え方の傾向がつくられていく。最近読んだ本の中に、「いわゆる名門校には、味噌蔵や酒蔵についているような熟成された『家つき酵母』のようなものがあり、そこに通ったものには共通する独特の雰囲気や考え方、行動が身についてくる」という表現がありました。

栗原英則・知道会幹事長

一方で、他者の考えをよく聞きながら皆でまとまってものごとを進めていくことなどについては、足りないところがあるのではないか、と見る向きもあるようです。そのような意味でも、知道会の活動等を通じて卒業生の交流を深めネットワークを拡げていくことは大切だと思います。

栗原　在校生に期待することは？

鬼澤　自由闊達で自主・自立の精神がある校風は、引き続き大事にして欲しいと思います。また、長い人生のうちのわずか3年間ですが、勉強は当然のこと、それに加えて、交友関係も意識して育んで欲しいと思います。3年間で育んだ交友関係は後々、貴重な財産となっていると私も実感しています。

また、世の中の仕組みを知りたいという探求心を高校時代から育んで欲しいと思います。経済も科学もそうですが、どうして？なぜ？と突き詰めて仕組みや理屈を解明できたときの喜びは、大学に入ってからも、さらに社会に出てからも、その人の真の底力となります。常に探求心を忘れずにいて欲しいと思います。

栗原　鬼澤会長からのお話を受けて、鈴木校長からもお願いします。

鈴木　10年ぶりに本校に着任して、生徒は以前に比べてスマートになった感があります。それでも、自由でのびのびとした雰囲気や、自主・自立の気風は残っており、この「自」を伸ばしてきたことが、本校の校風だと思っています。そのよさは守りつつ、現状の課題は何かを見極めて、取り組んでいきたいと思います。

また、生徒には、高い志を持って、文武両道に励んで欲しいと思います。「志」は、個人で完結してしまう目標や希望ではなくて、社会の中でどのような役割を果たすか、他者のために自分は何ができるかという思いの上に立つものだと思います。一高生のもつ「自」という概念や意識に加えて、「他」や社会にもしっかり目を向けて欲しい。西洋的な表現ですが、「ノブレス・オブリージュ（恵まれたものが果たすべき使命）」あるいは「For Others（他者のために）」といった精神も十分に身につけた上で、世界にどんどん羽ばたいて欲しいと考えています。

鈴木一弘・水戸一高校長

さらなる交流と母校支援を

栗原　鈴木校長の知道会に期待することを聞かせてください。

鈴木　水戸一高は、他の学校に比べて、母校愛が強い、母校での学校生活の満足度が高い、同窓のつながりが強い、というところがあります。引き続き母校に関心を持っていただき、ご意見やアドバイスを頂きたいと思います。

鬼澤邦夫・知道会会長

また、現在の学校、特に進学校やリーダーを育てる学校には、グローバル化に対応する人材を育成することが求められています。そして卒業生の中には、世界を舞台に活躍している方や、国内の各界で日本を牽引するトップリーダーとして活躍している方が沢山いらっしゃいます。ぜひ各界で活躍されている方々には、直接・間接的に生徒にお話やアドバイスをお願いします。知道会の中で、どのような分野で、どのような世界で、どのような方々がいて、どのような形で協力いただけるかといった、人材バンクや会員ネットワークのようなものがあると、学校として大変助かります。

栗原　鈴木校長からのお話を受けて、鬼澤会長より、知道会員へのメッセージをお願いします。

鬼澤　知道会の重要な目的は、会員間の相互の交流と、母校への支援で

す。

まず、母校への支援については、母校への愛着を今以上に強く意識して、会員が支援に参加できる仕組みを工夫していきたいと思います。母校が良い学校であるためには何が必要かを考えながら、知道会の活動、仕組み、支援の内容を更に深みのある形で創っていきたいと考えています。

次に、相互交流については、学年・職場・地域と様々な切り口で深めておりますが、仕事面ではもちろん、文化や趣味などにつきましても、交流を深めていける仕組みも考えていければと思います。

これらの２つの大きな目的に対して、より具体的に会員が感じて動くことができるようにしていきたいと考えています。

栗原　ありがとうございました。水戸一高は、平成30年に140周年を迎えます。それに向けて、鬼澤会長を中心に会員ネットワークの強化に努めるとともに、母校への支援に貢献していくことができればと考えております。

この記事は以下の広報委員が担当しました。

写真：菊池克仁（平13卒）、録音：後藤岳志（昭54卒）、文章：和知忠道（平11卒）

第64期代議員会

第64期（平成26年10月～平成27年９月）第34回代議員会が、平成27年５月23日（土）14時から知道会館２階会議室において開催されました。審議等概要は以下の通りです。

⑴栗原幹事長以下各委員長・副委員長から、当期事業が概ね順調に進捗している旨報告された。

⑵根本財務委員長から、今期収支はほぼ予定通り推移しており、引き続き会費納入率向上・口座振替の普及促進に努めたいとの説明がされた。

⑶栗原幹事長、根本財務委員長から、終身会費制度の設立経緯、今後の収入推計等の説明があり、審議の結果、終身会費制度を第65期から廃止することが了承された。なお、第64期までに終身会費を納入した会員については今後も会費は徴収しない旨確認された。

⑷生徒海外派遣プログラムについて、鈴木校長、石井教諭から経緯説明の後、３月７日～12日にかけて実施したシンガポール現地研修について生徒４名により成果の報告がなされた。

会員の集い　11月14日（土）開催

平成27年度 知道会「会員の集い」を平成27年11月14日(土)13:30から、水戸京成ホテルにて開催いたします。

今年は昭和59年卒、平成６年卒、平成16年卒を幹事学年に、昨年の400名を上回りさらに盛大な会になるよう、実行委員会で検討を重ねています。

講演会は昭59卒、ジャーナリストで『拡張するファッション』著者の林央子（なかこ）氏により、「ファッションは、毎日のアート」と題して㈱資生堂在籍時代からフリーとなった現在に至る活動についての講演を予定しています。

懇親会の企画は津軽三味線奏者の川嶋志乃舞さんによる演奏です。川嶋さんは水戸三高から東京藝大に進学し在学中。津軽三味線全国大会で４度の優勝経験をもつ「しゃみせにすと」としてテレビ・ラジオをはじめ各方面でご活躍のほか、「みとの魅力宣伝部長」「笠間特別観光大使」なども務めています。明るいトークと親しみやすい邦楽演奏をお楽しみ下さい。

実行委員会では、若年会員も多く参加し世代を超えて会員相互の親睦を一層深めていただくために、今回も知道会会費納入の初年度となる卒業６年目（今年は平成22年３月卒業）以下の会員の参加費を無料としました。該当する卒業年の会員で集いに出席される方は同封の集い参加費の振込用紙を使用せず、知道会事務局あて直接メールまたはFAXにてお申し込み下さい。

また、小さなお子様がいらっしゃる会員の皆様も安心して集いに参加できるよう、今回も会場別室にて専門業者による託児サービスを行います。当日集いに参加する会員は無料で利用できますので、ご利用希望の方は事前に実行委員会担当chidokaitsudoi@gmail.comまで会員名、お子様のお名前、生年月日をご連絡下さい。

これらの取り組みの財源にあてるため、実行委員会では集い当日に配布するパンフレットへの広告掲載を募集中です（10/8まで受付）。

以上の情報はすべて知道会HPに掲載しておりますので、詳しくは知道会HPをご覧ください。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

EVENTS

平成27年
4月
　7日　水戸一高入学式
　11日　第３回知道会幹事会
　19日　みつば知道会総会
　20日　広報委員会
　22日　総務委員会平成27年度「集い」第１回実行委員会
　25日　水戸一女子会講演会
5月
　23日　第64期第34回代議員会
　　下市知道会
　24日　桜山知道会
　27日　第２回実行委員会
6月
　6日　常陽銀行知道会
　10日　親睦委員会
　14日　石岡知道会
　18日　県庁知道会
　20日、21日
　　水戸一高学苑祭
　24日　第３回実行委員会
　27日　知道会ゴルフ大会
　28日　大洗知道会
7月
　4日　笠間知道会
　　常陸太田知道会
　5日　岩間知道会
　11日　土浦水中一高会
　12日　友部知道会
　13日　広報委員会
　22日　第４回実行委員会
　24日　鹿行知道会
　　みつば知道会納涼会
8月
　2日　水戸一女子会（みらい鑑賞）
　5日　親睦委員会
　15日　昭54年卒同窓会
　22日　昭44年卒45周年同窓会
　29日　総務委員会実行委員会
　　懇親会（湊線列車貸切）
9月
　5日　知道会長・校長座談会
　10日　昭40年卒同窓会
　11日　職域知道会連絡会
　12日　那珂知道会
　16日　財務委員会
　18日　親睦委員会
　24日　広報委員会
　26日　西日本水中一高会50周年祝賀会
　　知道会ミニ歩く会
　30日　第５回実行委員会

　このページでは、この夏、全国レベル以上で活躍した個人・団体の紹介をします。

少林寺拳法 インターハイ出場

　７月31日から姫路で行われた近畿総体（インターハイ）に、第１回大会に引き続き、２年連続で前澤遼河（39）が茨城県代表として出場した。

　３年生ということもあり時間が限られている中、茨城県予選では昨年よりも上位となる２位で入賞し、関東大会とインターハイの出場権を手にした。

　31日に行われた予選では、高校生活の集大成となる演武を行ったが、惜しくも僅差で準決勝進出には届かなかった。

アマチュア無線同好会 全国大会入賞

　第12回全国高等学校ARDF競技大会で男子の部では小野誠太（18）が７位に、女子の部では藤枝沙綾（24）が５位、土屋沙樹（17）が６位に入賞した。

　今年度は、Reg.3（アジア・オセアニア地区）大会が日本で行われるため、その選考会も兼ねた大会であったが、本校からは女子の部に入賞した藤枝、土屋の２名が出場権を得た。

　無線従事者免許取得者も増え、無線通信の設備も整い、今後の活躍が期待できる。

フェンシング ３年連続総体出場

近畿総体 男子個人フルーレ７位
男子個人エペ　Best16

　８月７日より奈良県桜井市芝総合運動公園体育館で開催された近畿総体フェンシング競技男子フルーレの部および男子エペの部に安雅人(37)が出場し、フルーレで７位、エペで

Best16の健闘を見せた。総体への出場は３年連続となる。

先に行われたフルーレでは予選プールを全勝で順当に勝ち進み、準々決勝で今大会優勝の鈴村健太選手（岐阜・大垣南）と対戦して惜敗。続くエペでもBest８決めで同選手と対戦し僅差で敗れはしたものの、総体で上位入賞を争う選手達同様、世代を代表する国内有力選手であることを充分に印象付けた。

山岳部
２年連続総体出場

今年の高校総体登山大会は滋賀県高島市で開催された。本校は昨年に続く連続出場である。

参加したのは、飯田司（31)、大和田周（27)、軍司竜杜（24)、小野悠也（21）のチームである。チームとしては２年連続であるが、各個人としては皆初出場であった。滋賀県の北部の山を縦走し、体力を競うほか、幕営・地形読図の技術や気象・救急等の登山に関する知識も審査され総合点で順位が決定する。

本校は91.4点で47チーム中の第29位であった。昨年は37位だったので大きな躍進である。２年生中心のチームなので来年は３年連続の総体出場と上位進出に期待が持てる。

放送部
NHK杯全国出場

７月20日～23日の４日間、東京渋谷で行われたNHK杯全国高校放送コンテスト全国大会に、ラジオドラマ部門、テレビドラマ部門で出場した。

初戦敗退という悔しい結果に終わってしまったが、全国レベルの高い技術と表現力を間近で体験できとても勉強になった。今回の経験を生かして、これからの校内放送活動により一層励んでいきたい。

秋には全国高等学校総合文化祭にも参加する。それに向けてもまた一層努力し、良い結果を勝ち取りたい。

ESS
ディベート大会出場

７月末、２日間にわたり東京で行われたNFLJディベート全国大会に出場した。

NFLJとは、米国「NFL」大会の日本版で、中国・韓国からの招待チームなど計69チームが参加した。水戸一Ｃチーム（捨田利澪（23）・根本剛（23））が中国代表チームに勝つなど、全勝で予選を通過した。

翌日の決勝トーナメントでは、準々決勝で翔凜高等学校（千葉）に惜敗しベスト８に終わった。今回の経験を生かし、12月の全国ディベート大会（HEnDA主催）での活躍を期待している。

テニス
６年ぶりの出場

大阪で開催された全国高校総体テニス大会に、男子シングルス茨城県代表として、住谷格生（26）が出場した。本校は６年ぶりの出場となった。

気温35度超の猛暑の中、１回戦では強力なサーブを武器に、鳥取代表の選手に快勝した。２回戦は三重代表のシード選手相手に持ち前の多彩でパワフルなグランドストロークで善戦したが、わずかに及ばなかった。

早いラウンドでの敗退となったが、全国トップレベルの選手と対等な打ち合いを展開したことは、今後への自信となり、大きな充実感をもって会場をあとにした。

学校基本データ

学校創立
1878年（明治11年）10月2日
平成27年　創立137年

同窓会員数
37,481人（平成27年９月現在）

住所判明者
21,288人

在籍生徒数
973人
（男子561人、女子412人）
（平成27年９月現在）

学年・地域等知道会

昭和54年卒学年同窓会

５年ぶりの学年同窓会である。今年、昭和54年卒業生は55歳を迎え、母校への入学から40周年の節目にあたる。開催日について悩んだが、お盆に合わせて帰省する者も多いだろうと８月15日とした。

会場はホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸。同学年卒業生は約400名、果たして何名が参加してくれるか心配をしていたが、約３割もの114名が参加し、恩師６名も駆けつけてくれた。先生を囲んで高校時代の思い出や卒業後の話などで大変盛り上がった。

会場には高校時代の思い出の写真を掲示し、写真からセレクトしたスライドを上映、モノクロ写真が遠い昔の思い出を蘇らせてくれた。開会から、恩師挨拶、写真撮影、そして、

校歌斉唱とあっという間に時間が過ぎていった。

次回は５年後の2020年、「元気で、また会おう」と誓って散会、夜の大工町では旧友たちとの楽しい語らいが続いた。

代表幹事　後藤直樹

昭和60年卒学年同窓会

平成27年８月16日、ホテル・テラス・ザ・ガーデン水戸にて、昭和60年卒の同窓会が開かれました。

お盆休みの最終日の日曜日という日程にもかかわらず、帰省中の同窓生など含めて20名ほどが参加し、懇談の前に、まずは次年度に控えた「集い」幹事年に向けての打ち合わせを行い、講演を担当してもらう同窓生の選定などを行いました。

知っているようで知らなかった同窓生の現在の活躍ぶりを知ることができ、充実した会議となりました。その後は、鬼籍に入られた２名の同窓生への献杯から懇談会に移行し、なかなか会う機会のない面々との話に花が咲きました。締めで、翌年の集いでの再会と、また多くの同窓生と会えることを祈念して散会となりました。

磯　美保

下市知道会

皆さん、こんにちは。久しぶりに下市知道会の近況を報告します。

総会は毎年１回、「魚兼」で行っております。約30名位の参加があります。

今年は講演を、知道会会長鬼澤さんの話を聞くことになり、予想した通り野球の話に花が咲いた感がありました。あのデータはどこに入っているのだろうと、酒の席の前にはぴったりの、また聞いてみたくなる話でした。長嶋さんや王さんが出てくる楽しい時間でした。

さて、下市知道会の事業は、ゴルフ会を年１～２回行っております。みつば知道会との交流もしております。下市知道会は上手な人が多く、

新刊紹介

知道会事務局に寄せられた本校出身者・関係者の著作を紹介しています

地域再生の戦略－「交通まちづくり」というアプローチ

宇都宮浄人 著
筑摩書房刊
定価760円＋税

地方創生の名の下、総花的な施策や、ゆるキャラ踊る一過性イベントを繰り返しても街の再生は覚束ない。交通という経済社会の血流に着目した「交通まちづくり」のアプローチによる着実な地方創生の方法を提案。水戸市を含む各地の最新事例や、求められる住民の役割にも言及したまちづくりに関わる市民、行政マン必読の戦略書。

常陸国　歴史の道を歩こう

金砂大田楽研究会
歴史の道グループ編
定価1,000円＋税

茨城県には古代官道をはじめとして各時代を代表する道・道跡が今も残っている。この本は、魅力あふれる茨城の歴史の道をウォークコースとしてまとめたもので、「古代の官道をたずねる」「浜降りの道を辿る」「江戸時代の街道を歩く」「水戸八景をめぐる道」の四つの章で構成され、道順も詳しく記述されている。

1300年前の奈良時代に日本列島を縦貫していた道跡を辿りながら、秋の一日を過ごすのも良きかな・・・である。

武石浩玻『米国日記』

佐々木靖章（茨城大学名誉教授）編著
川又書店刊
定価2,700円＋税

本書は、武石浩玻による明治40年から45年の米国滞在日記を、現在の表記に改め、注を付した270ページの労作。明治35年（1902年）に本校を卒業した武石は文学者への夢をパイロットに転じて成功したが、大正２年（1913年）に京都深草で墜落死した。俳句の選者や新聞人として活躍し、歴史に学ぶとともに世界の動静や民族運動に思いを馳せて、空の冒険者へと駆け上る様子が生々しく伝わる。

問合せは川又書店の山崎伸一（S50卒）まで。FAX：029-305-6833

上位を独占して、お土産を沢山もらって帰ってきます。

この他には、最近では地域貢献事業として、吉田神社秋季例大祭に寄付を始めました。下市地区の活性化に少しでも役に立てればと思っております。

また最近では、地域の小・中学校との交流もやろうという話が出て、今年は初年になり、形は決まっていないのですが楽しみにしております。

最後に、下市知道会への皆様の参加を心からお待ちしております。ぜひ声をかけていただければ、ご案内を送らせていただきます。

早川富二雄

石岡知道会　総会を開催

平成27年度石岡知道会総会を６月14日（日）、石岡プラザホテルにて開催しました。

大使が見た世界一親日な国　ベトナムの素顔

元ベトナム大使　横浜市立大学教授　坂場三男 著
（宝島社）
定価1,400円＋税

今年から来年は、ベトナム戦争終結、南北ベトナム統一からそれぞれ40周年となる。筆者は2008年から３年間大使として赴任。その間、国内58省と５つの政府直轄都市を全て訪問した唯一の大使となる。そんな筆者が最新の地域事情とベトナムの愛すべき素顔を余すところなく紹介。世界一親日的と語るベトナムは昨今茨城とも縁が深く、その魅力ある国民性を知るお勧めの一冊。

総会は会員の高齢化が進み、体調不良・家族の介護等でここ数年は24～５名の出席に留まっていましたが、本年度は鬼澤会長、栗原幹事長をお迎えして、総数30名での総会となりました。

大槻和夫副会長（昭44卒）の開会挨拶に続き、26年度の物故者へ黙祷を捧げました。初めに菊地武雄会長（昭38卒）が挨拶を述べられました。来賓挨拶の前に、鬼澤会長の紹介が、同級生の前石岡知道会会長手塚克彦氏（昭38卒）からありました。鬼澤会長のご挨拶は大変ユーモアに富んだもので、特に高齢者の「心身を健康にする秘訣」は大変参考になりました。栗原幹事長からは、一高の状況、歩く会についてのご説明がありました。会員で一人となってしまいました旧制水戸中学（昭和22年卒業）佐久良就大先輩の乾杯の発声で懇親会に移りました。

各テーブルは一年ぶりの再会を喜ぶ会員も多くおり、和やかに会は進みました。今年は歩く会が「石岡コース」なので、より一層の支援をする事を確認いたしました。

また、長年にわたり「歩く会・石岡コース」中休止地点で救護医を務めた冨田雅弘先生（昭40卒）に感謝の意を表し、小塙清先生（昭46卒）にバトンタッチしました。藤田幸久参議院議員も駆けつけ、会員の輪に加わりました。

各会員の近況報告や余興の詩吟も披露され、石岡を代表する銘酒「渡舟」を飲みながらの懇親会も刻限が迫り、大槻副会長（応援団OB）のエールで「第一校歌」を斉唱し、来年も元気に出席することを誓い散会いたしました。

後日、菊地会長から伺いましたが、鬼澤会長のご挨拶の効果か「脳トレ」を始め、２冊目に挑戦中とのことです。私も子供がくれたゲームソフトで「脳トレ」に挑戦しております。

事務局長　山口晋一（昭39卒）

土浦水中一高会

本年度の土浦水中一高会総会は、水戸一野球部が下館一高に逆転サヨナラで劇的勝利をした７月５日に行われました。会場にはその試合から駆けつけた方もおられ、感動の余韻を残しながら開会されました。

今回は本部から鬼澤会長、稲葉副会長、学校から鈴木校長が参加していただき、土浦水中一高会始まって以来、初の三役そろい踏みが実現でき、また藤田国会議員に今年も参加いただきました。

土浦一高会恒例の講演会は鬼澤会長にお願いし、「いま求められる人材とは」の演題で常陽銀行頭取、会長で培った経験・素養の元、内容とユーモアあるお話をいただきました。

宴会は、最後の水中卒の後藤先輩の歳を感じさせない熱い乾杯の音頭からはじまり、近年では最高の47人の参加者の熱気で盛り上がりました。さらに、稲葉副会長への叙勲祝いで、田島前事務局長からの花束を教え子の女性が手渡すというハプニングあり、これも楽しさに輪をかけました。

今回の何よりの特筆は若々しい初参加者が９名（うち女性２名）もいてくれたことでした。じり貧だった土浦水中一高会が新たな可能性をもったということで、ますます楽しい会になる予感を感じさせるものでした。

会長　桐原利之記

委員会

総務委員会

8月29日（土）、会員の集い実行委員会の懇親会企画として、根本酒造社長の根本朗裕氏（S59卒）の発案により、ひたちなか海浜鉄道に貸切車両１両を接続しての「大吟醸列車」を開催いたしました。

会員の集い実行委員会を中心に35名が乗車、勝田～阿字ヶ浦間を２往復、約２時間の行程で、勝田駅を発車後まもなく古平知道会事務局長（S37卒）の乾杯挨拶により宴会がスタート。貸切車両には根本氏製作の校章入りヘッドマーク、車中ではお弁当に根本酒造の「御城」「上丸」などのお酒を楽しみながら、出席者の自己紹介や情報交換などをしつつ進行。折返しの阿字ヶ浦駅ではひたちなか海浜鉄道㈱吉田社長からもご挨拶をいただき、小雨交じりの肌寒い天気であったにも関わらず瞬く間に２往復を熱く賑やかに過ごし、最後は校歌斉唱で締めくくりました。

会員の集いの準備も大詰め段階。この企画で一層結束を固めた実行委員会により、引き続き楽しい集いとなるよう取り組んで参ります。

財務委員会

年会費納入は利便性の高い金融機関等口座振替で！

「毎年の年会費納入が面倒になってきた」という声を受けて、75歳以上の会員を対象に第58期から６ヵ年にわたり実施してきました終身会費納入制度ですが、年会費の金融機関等口座振替の導入により納入の煩雑さが解消されていることから、第65期から廃止することになりました。なお、既に終身会費を納入された会員の方は、引き続きその資格を有しております。

知道会では会費納入に際して利便性の高い金融機関口座振替を推進しております。口座振替納入を希望する会員の方は、年会費振込用紙のメモ欄の「口座振替依頼書希望」の箇所にチェックを入れて下さい。後日、申込書をお送りいたします。

親睦委員会

第36回知道会ゴルフ大会

６月27日土曜日、梅雨の真っただ中、朝から霧雨の降りしきる那珂市静ヒルズで開催されたゴルフ大会。参加者55名、内４名の女性の参加がございました。

お天気は今いちでしたが、参加者の皆さんは元気溌剌、同級生で、年代を超えて組まれた組み合わせを楽しんでくださいました。大先輩の沼尻滋さん（S27卒）から三村玲緒さん（H19卒）まで、幅広いOBの方のご参加を頂きました。

変わらずお天気は、さっと降ったりやんだりのお天気でしたが、暑さはなく体調を崩す方もなく、無事終了いたしました。

コンペ終了後、懇親会での成績発表では、レギュラーの部とシニアの部の優勝、準優勝を発表、ドラコン、ニアピン、飛び賞などを表彰いたしました。レギュラーの部の優勝は、藤枝弘明さん（H１卒）、準優勝は関根滋之さん（S46卒）でした。そして、シニアの部の優勝は早川冨二雄さん（S39卒）、準優勝は田口清文さん（S36卒）でした。

来年は、大洗ゴルフ倶楽部で木曜日開催予定です。募集形態も変更し、春の知道会会報を送付する際に、ハガキを同封させていただく予定でございます。多くの皆さまのご参加をお待ちいたしております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

親睦委員長　星野幸子

物　故　者（H27.4 ～ H27.8 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。）

旧職員　市毛　雅男
昭11中　時田(橋本)邦英
昭11中　関　清
昭12中　辻　得二
昭13中　根本　正一
昭14中　飯村　勉
昭14中　梅原　関城
昭15中　飯田　吉郎
昭15中　打越　國道
昭15中　山本　吉藏(慎)
昭16中　大津　清一
昭16中　栗原　宏
昭17中　立原　俊雄
昭18中　塩田　稔
昭18中　田山　精一
昭18中　宮崎(安)達雄
昭18中　深谷　憲一
昭20中⑤飯村紀美彦
昭20中⑤古橋　重信
昭20中⑤伊勢　昭良
昭20中④大髙　榮一
昭20中④鈴木　齊
昭21中　鈴木　伸弘
昭21中　浅見(仲川)良二
昭22中　七字　秀忠
昭22中　須賀　芳一
昭23中　木村(大貫)成美
昭24高　関　克巳
昭24高　宮本　清
昭24高　吉久保俊夫
昭25高　小口　文郎
昭25高　加藤　次男
昭25高　佐久間　稔
昭25高　斉藤　正明
昭26高　小林　元
昭26高　中島　宏
昭26高　一木雄一郎
昭26高　木村　寿男
昭26高　浅野　幹雄
昭26高　加藤木國夫
昭26高　大曽根一巳
昭27高　木澤　信治
昭27高　田上　拓治
昭27高　真家左千夫
昭27高　川澄　敏夫
昭27高　北見　進
昭27高　木村真一郎
昭27高　生田目尚一
昭28高　石川浩一郎
昭28高　板橋　義晃
昭28高　内藤　肇
昭28高　飛田　佳明
昭28高　星野　公明
昭29高　飯村　喜明
昭29高　新野(村井)恭子
昭29高　松本　光枝
昭29高　川崎　英樹
昭29高　山本　隆夫
昭30高　菅谷　秀雄
昭30高　海老原和夫
昭30高　比佐(小池)通義
昭30高　打越　光彦
昭30高　仁平三紀雄
昭30高　牧野　雅光
昭30高　大内　省吾
昭31高　柴岡　正規
昭31高　佐藤　譲二
昭31高　松永　宗端
昭31高　川崎　中正
昭35高　吉成　公宏
昭35高　田村　英雄
昭36高　勝永　昭
昭36高　鈴木　文子
昭37高　関山　千城
昭40高　狩野　元信
昭40高　森田　稔
昭41高　髙津戸節郎
昭42高　飯島　和美
昭42高　本堂　清文
昭43高　都筑　積
昭45高　小貫幸太郎
昭45高　土屋　泰男
昭45高　広原　勇
昭46高　鬼澤　邦夫
昭51高　森(石崎)順子
昭55高　小沼　尋文
昭56高　松井　敏博
昭57高　中根　淳
昭59高　加藤　久

知道会報86号の物故者に誤りがありました。
(誤)昭41高　古田土　彰
(正)昭41高　古田土博嗣
古田土彰様に多大のご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げるとともに、訂正させて頂きます。

【事務局から】

電話お問合せの際、事務局不在の場合は、FAX（029-226-4157）又はE-mail（chidokai_mito@chidokai.jp）でご連絡下さい。早々の対応に努めます。